

**Q: 移住したいきさは?**

道弘: 移住前は埼玉県内に住み、千葉県内の会社に通っていたのですが、早朝5時に家を出て、夜中の0時以降に帰宅する生活に疲れてしまい、移住を考えるようになりました。私の母親が中島町出身で年に1、2回は帰省していたことに加え、親戚が営む「(農)なたうち」から米を送ってもらっていたこともあって、こちらへの移住を決めました。

**Q: 就農のきっかけは?**

道弘: なたうちの米がとにかくおいしくて、自分でも作りたと思ったんです。外で汗をかいて働きたいという思いもありました。

有里: 夫も私も農業経験はありませんでしたが、移住を決めた2018年5月になたうちでお手伝いさせてもらったら、とても楽しくて。それにせっかく能登に住むのだから、ここでしかできない仕事をしたかったです。役に立てるのかという不安もあったので、最初の7か月間は「農業インターンシップ」の制度を活用してもらい、その後、正式に採用してもらいました。

**Q: 仕事はいかがですか?**

道弘: なたうちでは水稲や大豆などを作っていて、栽培管理や収穫作業のほか、前職で培った、CAD・CGクリエイターのスキルを生かし、圃場の図面や営農計画の資料を作成するなどして、業務の効率化にも取り組んでいます。やることなすこと初めてのことが多く不安もありますが楽しんでます。

有里: 白ネギや中島菜の収穫、出荷作業や味噌などの加工品製造を手伝っています。野菜や味噌はお祭りの際などに販売していて、「おいしかったからまた来たよ」など、お客さんの喜ぶ声が直接聞けるのがうれしいですね。

**Q: 能登での暮らしぶり?**

道弘: 会社の先輩も地域の人みんな優しく接してくれます。喜んでもらえますから、地域の行事などにも積極的に参加しています。通勤は家から2分で、明るいうちに帰宅できますし、ご飯がおいしくてつい食べ過ぎてしまうほどです。



**藤原 道弘さん  
有里さん**

- 移住年** 2018年9月
- 移住先**   埼玉県 七尾市
- 勤務先** (農)なたうち
- 家族構成** 2人

就農で  
能登の  
農業体験  
ススめ

～ 農業インターンシップ体験談 ～